

トルコ産ザクロは欧州の品薄で関心が高まる見込み

FreshPlaza 2023年9月8日

トルコの青果物輸出業者であるエバーフレッシュタリム(Everfresh Tarım)社のベヤジット・アフィヨン販売部長は、「トルコ産ザクロの出荷シーズンの開始は順調だ。収穫が早いですが、品質はかなり良く、ヨーロッパ市場に受け入れられる品質を備えている。内部が赤に近く、外皮の色が赤いということ、外皮の欠陥がないこと、それに花が壊れていないことは品質の高さを示している。今年、ヨーロッパの地中海沿岸諸国ではザクロの出荷量が近年に比べて少なくなっている。このため、トルコ産ザクロへの関心が高まり、近年と比較して我々にとってより良い年になると予想している」と述べた。(以下「」は同氏の発言)

同氏は、まだすべてのザクロが収穫されたわけではないが、輸出には十分な量があるようだと言明する。「トルコのザクロの収穫はメルスィン県から始まる。その後、イズミル、デニズリ、アンタルヤの各県での収穫が続く。今年はお荷量が豊富だと言える。気象条件はこれまで良好で、果実はよく色付いている。さらに、意識の高いトルコの生産者らに対し正当な評価を与えるべきである。品質の良い果実を得るためには、良い栽培方法を実践する必要がある。」

正しい方法で操業することが、同社がザクロのシーズン中に獲得した顧客を維持することにつながる。激しい競争に対処するため、果実が可能な限り最高の品質であることを確保することが目標である。「今年が良いザクロのシーズンを期待している。悪い行いから良い結果を得ることはできない。高品質の果実を正しいやり方で梱包することによって、市場でのトルコ産ザクロの地位を維持することを目指している。今シーズンのターゲット市場は、ヨーロッパ、アジア太平洋諸国及びカナダである。これらの市場では、スペイン、イタリア、ギリシャ、エジプト、中国など生産力の高い国と真正面から競合している。これを克服する最も重要な方法は、適切な価格に見合った適切な品質の果実を提供することだけである。」

執筆者: ニック・ピーターズ

(関連記事)トルコ ザクロのシーズンが始まる

The Packer 2023年9月14日

「ネガティブな結果を避けるため、暑い天候に備えてチームと設備を用意した」

トルコの青果物輸出業者イスレク(Islek)グループのザクロの出荷量は、前年比で着実に増加している。昨年、同グループは約15%の増加を予想していた。同グループの輸出アシスタントであるメフメト・ムトル氏は、今シーズンはザクロの出荷量がさらに増加すると考えており、「今年はお社のザクロの収穫量が30%増えるの見込んでおり、これは総出荷量が約6千トンになることを意味する。今シーズンはザクロの需要が非常に高くなると見られる。交渉の段階だが、ドイツ、オランダ、スウェーデンに新しい顧客がいる。また、従来の取引先もより多くの量を求めている」と述べた。(以下「」は同氏の発言)

同氏は、国内外の競争に先んじるため、同グループは毎年ザクロの品質を向上させることに余念がないと言う。「お社はザクロの輸出に関してトルコの出荷業者と競っているが、これらの輸出市場ではスペイン、エジプト、ギリシャの出荷業者とも競争している。毎年、果実の品質を段階的に向上させている。今では、取引先はお社の品質を認識して最良にしてきており、それがお社のビジネスが成功している理由である。」

トルコの天候は8月には灼熱の暑さが続いた。同氏は、暑くなることがわかっていたので、少なくとも部分的には悪影響を回避することができたと言った。「今年是非常に暑く、まだ暑い。先月は史上最高の気温を記録した。しかし、天気予報で夏の間ずっと暑い天気が続くことがわかったため、我々はこの状況に備えてザクロ産地に人員と設備を用意し、否定的な結果を避けるよう取り組んだ。」

「アンタルヤ県で開催されるインターフレッシュユーラシア展に出展する(詳細省略)。お社は北欧や東アジアにも市場を拡大し、総出荷量も増やしたいと考えている。お社が正しい道を進んでいると信じている。」

執筆者: ニック・ピーターズ